

## 戦争法廃止 2000万統一署名第二次提出集会 署名数1580万人分に

戦争法の廃止を求める統一署名を共同して進めてきた 29 団体は 5 日、衆院第 1 議員会館で戦争法廃止 2000 万統一署名第二次提出集会を開き、第二次分として 5 月 19 日の 1350 万人分提出後に寄せられた約 230 万人近くの署名を届けました。累計で約 1580 万人に達しました。

はじめに、29 団体を代表して、総がかり行動実行委員会の小田川義和氏が開会あいさつ。「署名に託された市民のみなさんの思いを真正面から受けとめ、本気で共闘してほしい」と述べ、次の国政選挙に向け、「戦争法廃止、立憲主義回復、安倍政権打倒のたたかいをもう一回り大きくしていこう」と訴えました。

その後、提出集会に出席された民進党、日本共産党、社民党、生活の党、参院会派「沖縄の風」の代表に署名を手渡しました。

署名を受け取った民進党の神本美恵子参院議員、日本共産党の穀田恵二国会対策委員長、社民党の福島瑞穂参院議員、生活の党の玉城デニー幹事長、「沖縄の風」の糸数慶子代表が戦争廃止に向けた決意を語りました。穀田氏は「参院選では 32 の 1 人区すべてで野党統一を勝ち取り、11 選挙区で勝利できた。野党共闘をさらに前進させ、安倍政権を打倒するために一致協力して奮闘する」と語りました。



総がかり行動実行委員会の福山真劫氏が、今後の行動提起として、19 日の国会行動などを提起し、「憲法を守る、戦争する国には絶対反対するという決意で頑張れば、自公政権に負けるはずがない」とのべました。

## 野党4党、衆院2補選の候補者一本化で合意

民進党、共産党、社民党、生活の党の野党 4 党は 5 日、国会内で幹事長、書記局長会談を行い、衆院東京 10 区と福岡 6 区の 2 補選（11 日告示、23 日投開票）で共闘し、民進党公認候補に一本化することで合意したまし。

民進党の野田佳彦幹事長は会談で「野党候補が複数出ると、厳しい。与党対野党のシンプルな構図にするため、民進党公認候補に絞りたい。共産党に降ろしてほしい」と要請しました。それに、共産党の小池晃書記局長が「野党統一候補として勝利のために協力する」と応じました。同時に小池氏は「あくまで補選に限った対応だ。総選挙ではお互いに候補者を推薦し合うことが必要だ」と求めました。

4 党は共闘にあたり、参院選前に交わした安全保障関連法の廃止や貧困と格差の是正、安倍政権での

改憲反対などの合意を再確認し、「衆院選でできる限りの協力を行う」との合意も維持することを確認しました。両補選でもこうした主張を掲げることで一致しました。



ただ、会談で社民党の又市征治幹事長が補選での民進党候補への推薦を申し出たのに対し、野田氏は「推薦までは考えていない」と述べるなど、共闘に対する温度差も浮き彫りになりました。共産党と社民党は、次期衆院選での共闘には政策合意や候補者のすみ分けが欠かせないと主張しましたが、具体的な協議は持ち越しとなりました。

野党候補の一本化により、東京10区は民進党新人の鈴木庸介氏（40）と自民党現職の若狭勝氏（59）、福岡6区は民進党の新井富美子氏（49）といずれも自民党系無所属の蔵内謙氏（35）と鳩山二郎氏（37）の新人三人を中心にした争いになる見通しです。

## **首相、自衛隊など「心から敬意」一斉起立・拍手問題で**

安倍晋三首相が所信表明演説で海上保安庁、警察、自衛隊をたたえた際、首相に促された自民党議員らがスタンディングオベーションをした問題が大きな問題となっています。

このスタンディングオベーションについて、安倍首相は「国民よりも軍隊優先ではないか」「文脈を理解して」と語り、29日の参院本会議の代表質問で議論が繰り広げられました。

民進党の小川敏夫参院議員は「首相が自衛官らだけを特別に取り上げて尊敬の対象とするのは、あなたの心の中に国民よりも軍隊優先という考えが潜んでいるからではないか」と質問しました。これに対し首相は「国民のため現場で厳しい任務を全うする海上保安庁、警察、自衛隊の諸君に対し、心からの敬意をあらわそうと申し上げた」と説明し、その上で、「文脈をご理解いただきたい。国民よりも海上保安庁、自衛隊、警察が優先するなどという考えは根本的に間違っているだけでなく、彼らの誇りを傷つける」と述べ、小川氏の指摘を否定しました。

### **「総立ち拍手」批判に首相反論「各議員の判断」**

また、30日の衆院予算委員会で、所信表明演説中に自民党議員の多くが一斉に立ち上がって拍手したことへの野党の批判に対して、「まるで首相に拍手しているという批判はこじつけだ。ただ単に侮辱に明け暮れているとしか思えない」と反論しました。

民進党の細野豪志氏が「自衛隊員らにではなく、安倍首相に拍手しているように見え、違和感があつた」と指摘。さらに、首相自身も拍手していたことに触れ「この国の国会ではないような錯覚を覚えた」と述べました。これに対し、安倍首相は「スタンディングオベーションを要請したわけではなく、（自衛隊員らに）敬意を表そうと言った。表し方は各議員の判断だろう。どうしてことさら問題になるのか理解できない」と述べました。

自民党議員らのスタンディングオベーション時、首相自身も演説を中断し、壇上で拍手。大島理森衆院議長は自民党議員らに「ご着席下さい」と注意しました。

自民党の高村正彦副総裁はこれに先立つ党役員連絡会で「スタンディングオベーションすると叱られる議会の在り方がグローバルスタンダードに合っているのかどうか」と語りました。その上で「鳩山由紀夫元首相の所信表明に民主党議員がスタンディングオベーションしたとき、少なくとも自民党は抗議などしなかった」と反論しました。

## **各地のとくくみ**

# 「アベ政治を許さない」雨の中、国会前に 100 人

10月3日、作家の澤地久枝さんが呼びかけ、毎月3日に行っています「アベ政治を許さない」ポスターを掲げる行動が全国各地で一斉に取り組みられました。国会正門前には小雨の降る中、約100人が集まりました。

「アベ政治を許さない」のポスターは、戦争をさせないとの思いを込めた俳人の金子兜太さんの作品です。

東京都葛飾区から参加した女性（63）は、国民の思いを平気で無視する安倍政権に対して、強い憤りを感じています。「独裁の雰囲気強く感じる。選挙でも、4割に満たない得票しか得られていないのに改憲勢力が3分の2になってしまう小選挙区制の弊害も見直す必要があると思う」と話しました。

また、初めて参加した川崎市の男性（60）は「社会全体の動きが、徐々に戦争する国へ近づいているように感じるが多くなった。テレビでも、安倍政権や現在の日本の動きを批判する声や報道は少ない。逆に、現在を肯定する番組を多くみかける」と、危機感を語りました。

作家の渡辺一枝さんは、「許せない気持ちが爆発しそうです。高江も、福島も、全て安倍政治から発せられています。私たちの力を一つにして、安倍政治に鉄拳を振るいましょう」と呼びかけました。



国会前での行動



上田市での行動

## 上田でもアベ政治を許さない！全国一斉行動

上田でもスタンディングが行われました。予定していた場所で、スズメ蜂の巣が活発化しているということで、定例のスタンディングポイントを移動しました。いま、NHK 放映中の『夏目漱石の妻』（作・池端俊策、岩本真耶）が話題に挙がりました。夏目鏡子が、東京市電のストライキのデモに参加していたこと、あるいは、夏目家の家紋と天皇家の紋章をめぐるエピソードの断片が触れられました。

## 南スーダンへの陸上自衛隊派遣中止を！

### 東京・文京区議会で請願採択

文京区議会は9月29日、「南スーダンへの陸上自衛隊派遣中止を求める請願」を賛成多数で採択しました。自民党、公明党は不採択を主張しましたが、日本共産党などの賛成で採択されました。請願は文京平和委員会（川田正美代表）が求めているものです。

請願は、派遣先の南スーダンの首都・ジュバは内戦状態にあり、武装集団などに襲われた際に、他国軍とともに武器使用し威嚇・制圧するための訓練もされていると指摘しています。そして、「これらを見無視して自衛隊が任務拡大に踏み出せば、戦後初めて殺し、殺される事態が現実化」としたうえで、自衛隊の派遣中止と「駆けつけ警護」などの訓練を実施しないことを国に求めることを、議会に求めています。